



# ポリシーを使った監視



URL: <https://pandorafms.com/manual/!780/>  
Permanent link: [https://pandorafms.com/manual/!780/ja/documentation/pandorafms\\_complex\\_environments\\_and\\_optimization/02\\_policy](https://pandorafms.com/manual/!780/ja/documentation/pandorafms_complex_environments_and_optimization/02_policy)  
2025/03/04 21:22





# ポリシーを使った監視

[Pandora FMS ドキュメント一覧に戻る](#)

## 概要

ポリシーシステムは、大規模な監視環境の管理を促進することを目的としています。モジュール、アラート、外部アラート、プラグイン、リモートインベントリおよびコレクションを一元化された方法でエージェントに伝播できます。

ポリシーに加えた変更を適用するには、“[キュー](#)”画面でポリシーの適用(apply the policy)を行う必要があります。

より詳しい情報は“[テンプレート、ポリシー、一括操作の違い](#)”を参照してください。

## ポリシー管理

- ポリシー管理は、Pandora FMS ウェブコンソールの左にある [管理\(Management\)](#) → [設定\(Configuration\)](#) → [ポリシー管理\(Manage policies\)](#) から行えます。

Configuration  
Policies management

> Filters

> Registration

Status	Name	Agents	Group	Op.
	Basic AIX Local Monitoring	0		

Linking | Collections | **Modules** | Agent Wizard | Alerts | External alerts | Queue | Agents | Plugins | Inventory

- 対応するリンクをクリックすると、ポリシーのコンポーネントにすぐにアクセスできます。
- 各エージェントの設定セクション (メニュー [管理\(Management\)](#) → [リソース\(Resources\)](#) → [エージェント編集\(Agent edition\)](#)) では、各エージェントに限定したポリシータブが利用可能です。インターフェイスは監視ポリシーのインターフェイスに似ており、セクション内のエージェントにのみ影響し、複数

のポリシーを一度に選択し、それらを同時に適用または削除することができます。この方法で追加されたエージェントは、監視ポリシーのメインセクションにも表示され、一括で管理できます。

## ポリシーの検索

コマンドセンター(メタコンソール)とノードの両方の Pandora FMS 検索ヘッダからポリシーを検索できます。コマンドセンターでの検索では、次の 2 種類の結果が返されます。

- 一元化検索(Centralized search): 表示されるポリシーは、メタコンソール自体のポリシーです。
- 非一元化検索(Non-centralized search): 表示されるポリシーは、各ノードから直接取得されたポリシーで、オリジンが表示されます。

## ポリシーの追加

管理(Management) メニュー → 設定(Configuration) → ポリシー管理(Manage policies) → 作成(Create) ボタンをクリックします。

名前とグループを入力し、子グループに適用するかどうか、およびリモート設定が有効になっていないエージェントに強制的に適用するかどうか(強制適用(Force Apply) オプション)を指定します。作成(Create) を再度クリックして保存します。

## ポリシーの複製

オプション列の対応するアイコンをクリックします。

Configuration  
Policies management

> Filters

> Registration

Status	Name	Agents	Group	Op.
	Basic ADX Local Monitoring	0		
	Basic ADX Local Monitoring (1) Linking   Collections   Modules   Agent Wizard   Alerts   External alerts   Queue   Agents   Plugins   Inventory	0		
	Basic ADX Local Monitoring (10)	0		

ポリシーのコピーは、ソースポリシーの状態に関係なく、“適用されていないもの”として作成されます。

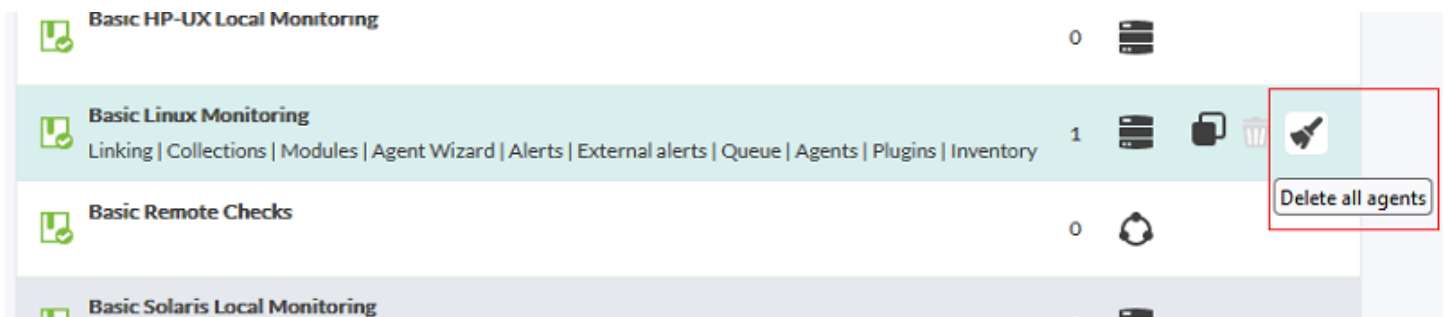
## 監視ポリシーのエクスポートとインポート

PRD フォーマットでのインポート・エクスポート を参照してください。

## ポリシーの削除

ポリシーを削除するには、関連づけられたエージェントが無い状態である必要があります。

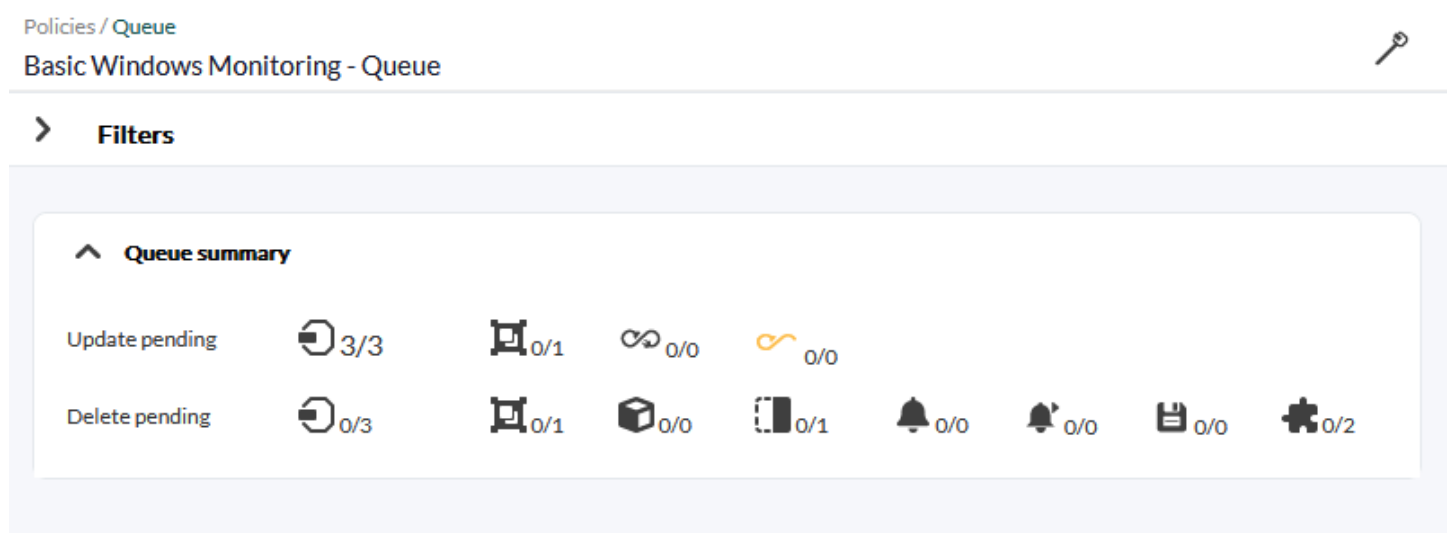
ポリシーにエージェントがある場合、削除ボタンは無効になり、全エージェントの削除ボタンが表示されます。



このボタンは削除処理をキューに追加します。処理が完了すると、ポリシーの削除ボタンが再び有効になります。

## ポリシーキュー管理

ポリシー操作キューには、最後にポリシーが適用されてから変更された要素の概要が含まれます。



このリストには、更新が保留中の要素と削除が保留中の要素があります。この概要には、ポリシーを適用する必要があるかどうかを示されます。場合によっては、適用保留中のエージェントのアイコンの横に、適用するためのボタンが表示されることがあります。

- 保留中の変更がデータベースにのみ影響する場合 (アラートの変更など)、このボタンはそのレベルの変更のみを行うため適用は高速になります。
- 一方、設定ファイルに影響する設定変更の場合 (たとえばコレクションやローカルモジュールが変更された場合)、一通りの適用が行なわれます。
- 概要の右下には、*保留中の変更の種類に関係なく*、すべてを適用するボタンがあります。

## ポリシーの設定

ポリシーを設定するには、ポリシーの名前をクリックします。中に入ると、右上のメニューからさまざまな設定セクションにアクセスできます。

ポリシーの設定では、セットアップに加えて、次のタブがあります。

- エージェント(Agents)
- モジュール(Modules)
- インベントリモジュール(Inventory Modules)
- アラート(Alerts)
- 外部アラート(External alerts)
- コレクション(Collections)
- リンク(Linking)
- キュー(Queue)
- エージェントプラグイン(Agent Plugins)
- エージェントウィザード(Agent Wizards)

ポリシーで可能な操作は次のとおりです。

- 1 つまたは複数の既存のポリシー エージェントの追加/削除。
  - モジュールの作成/編集/削除。
  - エージェントプラグインの定義/編集/削除。
  - アラートの作成/編集/削除。
  - 外部アラートの作成/編集/削除。
  - 既存のコレクションの追加/削除。
  - 既存のインベントリモジュールの追加/削除。
  - ポリシーに 1 つまたは複数のモジュールをリンク。
  - ポリシーに加えられた変更を適用。
- 
- 設定したアクションは、ポリシーが適用されるまで適用されません。
  - ポリシーが適用された状態で要素が変更または削除された場合、その変更は次回適用されるまで反映されません。
  - すべての変更は、変更を適用するセクションである **キュー(Queue)** ウィンドウに反映されます。

## エージェント

ポリシーにエージェントを追加するには、上部のフィルタリングオプションで、Ctrl キーまたは Shift キーを使用してグループとして必要なエージェントを選択します。ウィンドウの下部には、ポリシーからの削除が保留されているエージェントを含む、ポリシーに関連付けられたすべてのエージェントのリストが表示されます。

同様に、エージェントのリストには、グループ、部分文字列、またはその適用状態によるフィルタがあります。

- エージェントが削除されると、その名前が赤で強調表示され、削除ボタンの代わりに削除を取り消しエージェントをポリシーに再度関連付けるためのボタンが表示されます。
- ポリシーに対するエージェントの追加または削除は、**キュー(Queue)**の画面でポリシーが適用された際に有効になることに留意してください。

## グループ

バージョン 760 以降の Pandora FMS では、このオプションで設定されたグループのいずれかに新しいエージェントが割り当てられると、それらのエージェントは自動的にポリシー設定を受け取ります。

Policies / Agents  
Basic AIX Local Monitoring - Agents

> **Filters**

**Apply to**

Groups

**Groups**

Please select...

**Groups in policy**

- Databases
- Network

Name	S.	A.	T.	Last application	D.
Databases			0 / 1		
Network			0 / 4		

適用先(Apply to) でグループ(Groups) を選択し、必要なグループを参照して選択します。次に、ポリシー内のグループ(Groups in policy) をリストに追加します。ウィンドウの最下部には、ポリシーからの削除が保留されているグループも含め、ポリシーに関連付けられているすべてのグループのリストが表示されます。

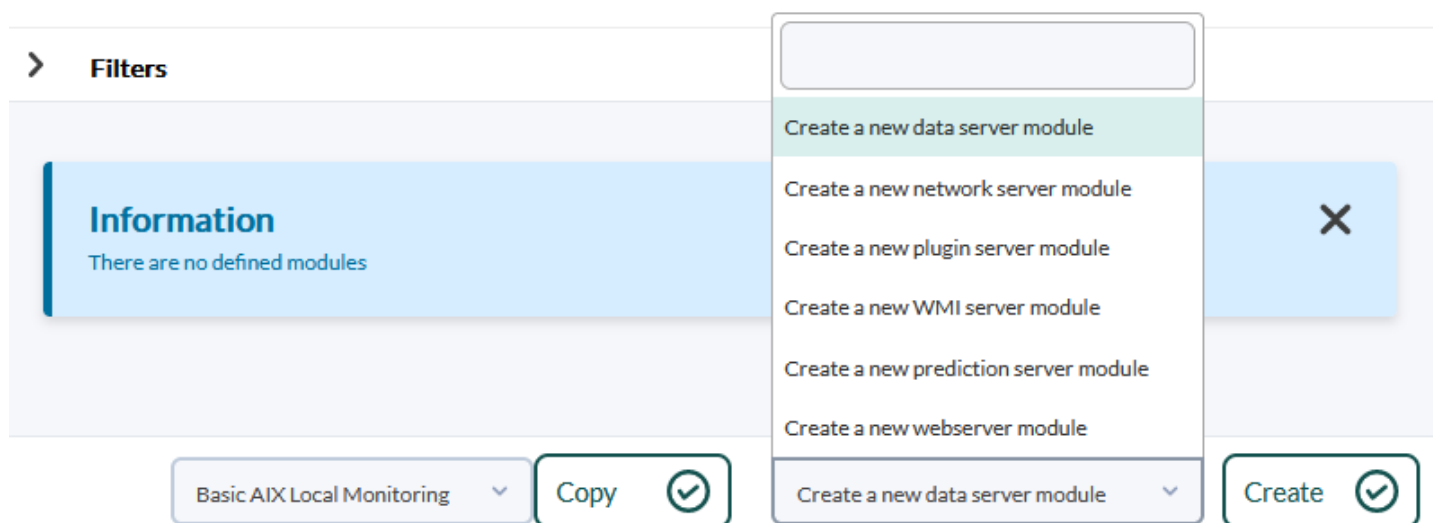
グループが削除されると、名前に取り消し線が引かれて表示され、削除ボタンの代わりに、削除を取り消しグループをポリシーに再度関連付けるためのボタンが表示されます。削除したグループに属するエージェントも取り消し線で表示されます。

ポリシーへのグループの追加または削除は、“キュー” が適用されるまで有効になりません。

## モジュール

このメニューでは、ポリシーに追加するモジュールを設定できます。

モジュールを追加するには、まずドロップダウンメニューからタイプを選択し、作成(Create) ボタンを押します。



### データサーバモジュールの作成

データサーバモジュールは、ソフトウェアエージェントへ追加するモジュールです。このモジュールが動作するようにするためには、エージェントでリモート設定が有効になっている必要があります。

データサーバモジュールの新規作成(Create a new data server module) オプションを選択し、作成(Create) ボタンをクリックします。

モジュールのすべてのフィールドを設定します。データ設定(Data configuration) フィールドには、



上記のポリシーに含まれるエージェントに適用されるモジュールコードを入力できます。この変更は、エージェント自体の `pandora_agent.conf` ファイルに反映されます。

フィールドに入力する他、以前に **ローカルコンポーネント** を定義している場合はそれを選択できません。フィールドについてより詳しくは、**テンプレートとコンポーネント** をご覧ください。

### ネットワークサーバモジュールの作成

ネットワークサーバモジュールを作成するには、ネットワークサーバモジュールの新規作成(Create a new Network Server Module) を選択し、作成(Create) をクリックします。

モジュールのすべてのフィールドを設定します。これらの画面のフィールドの説明は、**テンプレートとコンポーネント** の章で説明しているものと同じです。すべてのフィールドに入力したら、作成(Create) ボタンをクリックします。

### プラグインサーバモジュールの作成

プラグインサーバモジュールの新規作成(Create a new Plugin Server Module) を選択して作成(Create) をクリックします。名前を入力し、次に 詳細オプション(Advanced options) セクションで プラグイン(Plugin) で登録されているプラグインの 1 つを選択します。

すべてのフィールドを入力したら、作成(Create) ボタンをクリックしてポリシーモジュールを保存します。

エージェントの IP アドレスを表す `_address_` など、マクロを利用して動的なパラメータを設定できます。

### WMI サーバモジュールの作成

WMI サーバモジュールを作成するには、WMI サーバモジュールを新規作成する(Create a new WMI Server Module) をクリックし、作成(Create) をクリックします。名前を割り当て、モジュールのフィールドを設定します。

対象IP (アドレス)(Target IP (Address)) には、3つのオプションがあります。

1. 自動(Auto): エージェントが持つ最初の IP アドレスで常に更新されます。
2. プライマリキーを強制(Force primary key): モジュールは、ポリシーの適用時にエージェントのプライマリ IP アドレスを使用して作成されます。エージェントの IP アドレスが変更されても、古い IP アドレスが維持されます。

3. カスタム(Custom): ポリシーで特定の IP アドレスを割り当てることができます。このオプションを選択すると、テキストボックスが表示されます。

これらのフィールドの説明は、[テンプレートとコンポーネント](#) の章にあります。すべてのフィールドに入力したら、作成(Create) ボタンをクリックします。

リモート WMI モジュールの作成の詳細については、[WMI でのリモート Windows モニタリング](#) を参照してください。

エージェントの IP アドレスのような動的なパラメータをマクロで設定できます。利用可能なマクロ一覧はプラグインのヘルプボタン(?)をクリックしてください。

### 予測サーバモジュールの作成

このオプションをウェブコンソールに表示するには、[予測サーバ](#) を有効にする必要があります。predictionserver 1 のように、[トークン](#)を設定する必要があります。

予測サーバモジュールを作成するには、新しい予測サーバモジュールの作成(Create a new prediction server module) オプションを選択し、作成(Create) ボタンをクリックします。名前を割り当て、モジュールフィールドを設定します。サービスを除いて、同じポリシーのモジュールを選択することも、このポリシーに含まれる各エージェントのモジュールを取得することもできます。

### ウェブサーバモジュールの作成

ウェブサーバモジュールの新規作成(Create a new Web Server module) オプションを選択し、作成(Create) ボタンをクリックします。モジュールフィールドを設定し、[Web checks](#) セクションにアクセスします。次に、高度なオプション(Advanced options) にアクセスし、もう一度作成(Create) ボタンで保存します。

ウェブモジュールでは、コンポーネントはありません。

### 作成済モジュールの編集

ポリシーに割り当てられたモジュールは編集することができます。それにはモジュール名をクリックします。すると設定オプションが表示されます。










ポリシーモジュールの名前を変更すると、ポリシーが適用される際他のフィールドと同様にモジュールの名前が変更されます。

修正したら、更新(Update) ボタンをクリックします。

ポリシーモジュールの名前を変更し、エージェント内に新しい名前のモジュールが既に存在する場合、**モジュールは適用済みとなり**、古い名前のモジュールは削除されます。

### 作成済モジュールの削除

ポリシーからモジュールを削除し、エージェントからも削除するには、モジュール名の右側のごみ箱をクリックします。実行するとモジュールの表示は残っていますが、打消し線が引かれ、削除ボタンが取消ボタンに置き換わります。

Name	Type	Action
Fajita		
Memory Free		<input type="checkbox"/>
MySQL-8		
New server web module		<input type="checkbox"/>
System-Description		  
WMI new module		<input type="button" value="Undo deletion"/>

複数のモジュールを削除したい場合は、ごみ箱アイコンの右側のチェックボックスを選択して、削除(Delete) ボタンをクリックします。

### インベントリモジュール

システムに存在するインベントリ、間隔、および権限を選択することで、ポリシーにインベントリモジュールを作成することもできます。

他のポリシーの要素と同じように、インベントリモジュールを削除すると、削除ボタンの代わりに取り消し線と取り消しアイコンが表示されます。

リモートインベントリモジュールの追加に関して、より詳細な情報は [インベントリモジュール](#) を参

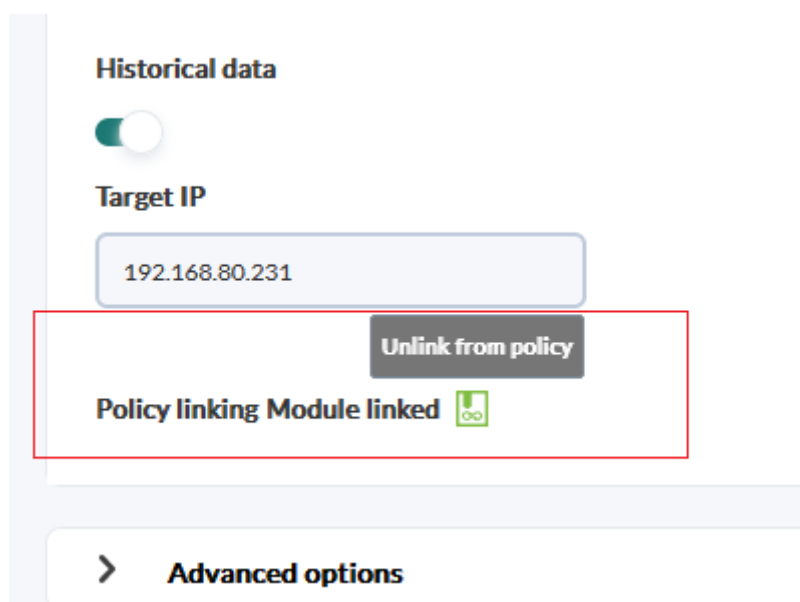
照してください。

## ポリシーモジュールの状態

ポリシーからモジュールが作成されると、そのモジュールはポリシーアイコンで参照されます。

### リンク済モジュール

ポリシー内で作成されたモジュールで、適用するとエージェント内にも作成されます。モジュール自体の設定ページでこのボタンを押すと、モジュールをリンクしたりリンク解除したりできます。



### リンク解除モジュール

リンク解除モジュールは、ポリシーに属しているが、ポリシーの変更の影響を受けないモジュールです。特定のポリシーに属するモジュールに対して個別の例外を作ることができるため便利です。これにより、ポリシーから特定のエージェントモジュールをポリシーから外すことなくカスタマイズすることができます。

ポリシーの変更は、モジュールが再びリンクされたときにのみ適用されます。

### 適用済モジュール

このモジュールは、エージェント内の既存のモジュールと同じ名前でポリシー内に作成されたものです。ポリシーを適用する場合Pandora FMS は新しいモジュールを作成する代わりに既存のモジュールのデータを使用し、エージェントから管理され続けます。

- このタイプのモジュールは、ポリシーで行われた変更の影響を受けません。
- ポリシーを削除しても、適用済モジュールはエージェントから削除されません。

## リンク・適用済モジュール

適用済モジュールをリンクして、ローカルの定義の代わりにポリシーで設定された定義を使用できます。これにより、ポリシーからモジュールを管理するときに、何らかの変更があるとモジュールも変更されます。

ポリシーからエージェントを削除すると、リンク済モジュールは削除され、リンク・適用済モジュールのみが保持されます。





## アラート

### アラートの追加

アラートを追加するには、事前に定義したアラートテンプレート(Alert template) をポリシーのモジュールに割り当てて追加(Add) ボタンをクリックします。




### アラートの編集

アクションを追加したり、アラートをスタンバイや無効化にしたりできます。モジュールまたはテンプレートを変更する場合は、それを削除し、新しいアラートを作成する必要があります。

Template	Module	Actions	Op.
<i>Critical condition</i>	<i>Pagination use</i>		
Services RCA	CPU User		   

## アラートの削除

ポリシーからアラートを削除し、設定されたエージェントから削除するには、アラートの行のゴミ箱アイコンをクリックします。これを実行するとアラートは一覧には残りますが、名前が取り消し表示となり、削除ボタンが取り消しボタンに変わります。

Template	Module	Actions	Op.
<i>Critical condition</i>	<i>Pagination use</i>		  
Services RCA	CPU User		<input type="button" value="Undo deletion"/>

## 外部アラート

外部アラートを使用すると、ポリシーのモジュールリストにないエージェントモジュールにアラートをリンクできます。アラートをすべてのエージェントモジュールではなく、一部のエージェントモジュールにのみ割り当てるのに非常に便利です。

## 外部アラートの追加

外部アラートを作成するには、以下のフィールドを入力する必要があります。

### Alert ✕

**Modules in policy agents**

✕ Connections opened  
✕ CPU Usage ✕ Disk\_Free  
✕ Dropped Bits of nothing  
✕ Host Alive

All

**Alert template** **Actions**

Critical condition ▼

Create Integria IMS... ▼

Cancel
Add external alert

この機能は、コマンドセンター (メタコンソール) とノードの両方にあります。






### 外部アラートの編集

編集では、外部アラートアクションの追加または削除のみできます。その他の変更を行う場合は、削除して再度作成する必要があります。

Alert	Modules in policy per agents	Actions
Critical condition	Connections opened	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Create Integria IMS ticket (A/ways) <span>🗑</span></li> <li>○ Mail to Admin (A/ways) <span>🗑</span></li> <li><span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">⊕ Add action</span></li> </ul>
Critical condition	CPU Usage	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Create Integria IMS ticket (A/ways) <span>🗑</span></li> <li><span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">⊕ Add action</span></li> </ul>
Critical condition	Disk_Free	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Create Integria IMS ticket (A/ways) <span>🗑</span></li> <li><span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">⊕ Add action</span></li> </ul>
		<span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">🗑 Delete</span>

## 外部アラートの削除

外部アラートをポリシーから削除し、エージェント設定からも削除するには、外部アラートの右側にあるゴミ箱アイコンをクリックします。

Alert	Modules in policy per agents	Actions
Critical condition	Connections opened	<ul style="list-style-type: none"><li>○ Create Integria IMS ticket (Always) </li><li>○ Mail to Admin (Always) </li><li>⊕ Add action</li></ul>
Critical condition	CPU Usage	<ul style="list-style-type: none"><li>○ Create Integria IMS ticket (Always) </li></ul>
Critical condition	Disk_Free	<ul style="list-style-type: none"><li>○ Create Integria IMS ticket (Always) </li><li>⊕ Add action</li></ul>
Critical condition	Dropped Bits of nothing	<ul style="list-style-type: none"><li>○ Create Integria IMS ticket (Always) </li><li>⊕ Add action</li></ul>

Undo deletion

削除の仕組みは通常のアラートと同じです。ポリシー **キュー** が適用されるまで、削除は有効になりません。

## 複数のポリシーからの外部アラート

1 つまたは複数のモジュールに、さまざまなポリシーからのさまざまなアクションを設定できます。

この機能は コマンドセンター (メタコンソール) にもあります。

## エージェントプラグイン

ポリシーにプラグインを追加する方法は、エージェントで行う方法とまったく同じです。詳細については、"[ソフトウェアエージェントでのプラグインの利用](#)" の章を参照してください。

エージェントプラグインがポリシーによって適用されるには、プラグインがエージェントによって指定されたパスに存在している必要があります。



## ファイルコレクション

**ファイルコレクション** は、ソフトウェアエージェント、エージェントモニタリングポリシー、およびサテライトサーバで使用されるスクリプトまたはプラグインを大規模に展開するために使用されるリソースです。

Policies / Collections

Basic AIX Local Monitoring - Collections



### > Filters

#### Collections in policy

Name	Short name	Description	Status	Remove
New file collection	fc_1686321213		✓	

#### Collections to add

Name	Short name	Description	Status	Add
Agent Software repository	PFMS_REPO		✓	

監視ポリシー編集時に コレクション(Collections) タブをクリックすると、使用可能なコレクションのリストが表示されます。追加または削除して、**キュー** の変更を適用することができます。

## コマンドセンター(メタコンソール)からのポリシー管理

**コマンドセンターからポリシーを管理** することが可能です。この処理は配下のすべてのノードへ情報を配布し、各ノードが適用を担当するものです。ノードがコマンドセンターと同じデータを持つことが重要であるため、この情報の配布は複雑です。

[Pandora FMS ドキュメント一覧に戻る](#)